

民族共生象徴空間交流促進 官民応援ネットワーク

アクションプラン

～オール北海道の絆で、豊かな伝統を現代に、そして未来へ～



平成29年5月

民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク

目 次

I. プランの趣旨

1. ネットワークのめざす姿
2. プランの趣旨

II. 活動の基本的な考え方

1. 活動期間
2. 活動の重点項目
 - (1) 象徴空間開設に向けた機運の醸成
 - (2) 情報発信と誘客促進
 - (3) 受入体制・おもてなしの充実
 - (4) その他「象徴空間」開設を契機とした取組

III. アクションプランの推進

1. これまでの取組
2. 今後の展開
 - (1) 道・国、市町村、関係団体等による連携事業の共有と発信
 - (2) 「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」パートナーシップ事業の提案募集
3. 推進体制
4. 展開スケジュール

【参考資料】

- ・平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧
(リンクージュ事業)
- ・アイヌ文化を紹介する博物館・展示施設等
- ・「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」パートナーシップ事業提案募集要領
- ・民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク規約

民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク アクションプラン

I. プランの趣旨

1. ネットワークのめざす姿

～オール北海道の絆で 豊かな伝統を現代に、そして未来へ～

北海道胆振管内白老町ポロト湖畔で整備が進められているアイヌ文化の継承とアイヌ文化の創造発展につなげるための新しい拠点「民族共生象徴空間」が、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ公開される予定です。

国では、100万人の来場者目標を掲げており、全国、世界中からたくさんのお客様が北海道を訪れることで、経済の活性化と地方創生に大きく寄与することが期待されます。

本ネットワークは、国、道、市町村、アイヌ協会をはじめ、経済界、大学、企業・市民団体など、オール北海道により、象徴空間がもたらすさまざまな効果を北海道全体に広げるため、象徴空間への誘客促進はもとより、北海道各地のアイヌ文化や食・観光等といった多様な魅力をつなぎ、国内外に積極的に情報発信するとともに、受入体制の整備などに取り組みます。

2. プランの趣旨

本アクションプランは、ネットワークの取組への理解を広げ、多様な主体による象徴空間応援に向けた取組を喚起、連携、協力、支援するため、ネットワークの活動内容や進め方などを明らかにするものです。

II. 活動の基本的な考え方

～アイヌ文化の創造発展と北海道経済の活性化・地域創生の好循環へ

象徴空間開設に向けた機運の醸成と100万人の来場目標の実現、さらに開設効果を全道に広げるため、誘客促進、情報発信と受け入れ体制の整備に資するよう、次の活動を展開します。

1. 活動期間

「象徴空間」開設に向けた取組であることから、実施期間は、平成29年度（2017）から平成32年度（2020）までの4年間とします。

なお、開設後におけるオール北海道による応援体制の整備についても検討を進めていきます。

2. 活動の重点項目

（1）象徴空間開設に向けた機運の醸成

象徴空間開設の意義・目的や機能、施設の概要、スケジュール等の情報発信や機運醸成に資する官民協働の取組を喚起・支援します。

象徴空間の意義・目的

－ アイヌ文化の復興・民族の共生－

1. アイヌの人々による歴史・伝統・文化等の継承・創造の拠点

- ①アイヌの歴史・伝統・文化等の継承の拠点
- ②新たな伝統・文化の創造の拠点

2. 国内外の人々のアイヌに関する理解を促進する拠点

- ①初めてアイヌの伝統・文化に接する人々の理解を促進する拠点
- ②アイヌの伝統・文化への関心を有する人々が実際に体験して理解を深める拠点
- ③より深く探求したい人々が手掛かりを見出すための拠点

3. アイヌ文化復興に向けた全国的ネットワークの拠点

- ①先導的な取組を行う拠点
- ②各地域の連携を促すための拠点

【中核区域】

1. 国立アイヌ民族博物館



文化庁提供

建設場所：北海道白老郡白老町若草町
 延べ面積：約8,600㎡ 規模：地上3階
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

1階：来館者サービス、博物館の管理・運営部門を配置

シアター	映像や音声でアイヌ文化の概要等を紹介
カフェ、ミュージアムショップ	国立民族共生公園に隣接し、公園来場者にも広く開放
研究交流室	アイヌ文化の講座や講演会などのほか、ガイダンスにも使用



2階：展示室、収蔵庫を集約

展示室ロビー	自然豊かなポロト湖畔を眺望できるロビー空間
展示室	テーマ展示室と特別展示室の間仕切りを移動可能とするなど、様々な展示形態に対応
収蔵庫	収蔵庫の温湿度が一定となるよう管理を行い、貴重な展示・収蔵品の劣化を防止

出典：文化庁報道発表2017.3.23

2. 国立民族共生公園

伝統的コタンや広場、ポロト周辺の豊かな自然環境等を活かしながら、舞踊、工芸等を始めとするアイヌ文化の多様な要素を一般の人々が体験・交流する体験型のフィールドミュージアムとして、また、多様な来園者が快適に過ごせる魅力ある空間を形成するために必要となる施設を、空間構成計画に基づいて配置。

- ◆伝統的コタン…チセ群等の再現によりアイヌの伝統的生活空間を体験できる施設
- ◆体験交流施設…概ね500～600名程度収容できる体験交流ホール、アイヌ語、伝統的生業等を体験できる体験学習館
- ◆工 房……………来園者が工芸の製作を体験できる施設
- ◆芝生広場……………美しい景観、豊かな自然を活用した憩いの場
- ◆エントランス…来園者を安全・円滑に誘導する象徴空間の入口



ポロトと公園通の間に位置する面積約10haの区域。(博物館建設予定地及びポロト温泉予定地の範囲を除く。)

出典：国土交通省「国立の民族共生公園基本計画」

3. 慰霊施設

- 全国12大学が1,600体を超えるアイヌ遺骨や副葬品を保管
 - 関係者の理解及び協力のもとで、象徴空間に集約
 - ポロト湖の東側の太平洋を望む高台に慰霊施設を整備
 - アイヌの人々による尊厳ある慰霊を実現



4. 関連区域

中核区域周辺の豊かな自然を活用して、世代を超えてアイヌ文化を体験できる「フィールドミュージアム」を構成



【スケジュール】

	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
全体	運営主体指定	運営主体開業準備・情報発信		2020年4月 象徴空間一般公開
国立アイヌ民族博物館		施設建設工事		
		展示工事		
国立民族共生公園		建設工事		

(2) 情報発信と誘客促進

アイヌ文化の復興等のナショナルセンターとして整備予定の「民族共生象徴空間」は、展示機能、体験交流機能、公園等の役割を持ち、様々な人が民族共生を感じられる空間となりますが、認知度が高いとは言えない調査結果※¹もあり、国が掲げる年間100万人の来場者目標を達成に向けて、開設までの3年間で、アイヌ文化の伝承活動に親しみを持ってもらうための取組が重要となります。

このため、「象徴空間」開設の告知プロモーション活動やアイヌ文化と北海道の魅力を国内外に広く伝える官民協働の取組を喚起・支援します。

(3) 受入体制・おもてなしの充実

現在、国立アイヌ民族博物館と民族共生公園等の建設が進められていますが、国内外から訪れる方々のさまざまなニーズに応えられる環境を整えていくことが求められています。

このため、象徴空間における企画演出等魅力の向上、隣接地域、広域周遊圏における、アクセスや情報案内等利便性・快適性の向上、関連イベント、土産記念品・サービスの充実などにより、来場者の受入体制の整備とおもてなしの向上に資する官民協働の取組を喚起・支援します。

(4) その他「象徴空間」開設を契機とした取組

国では、文化芸術資源を活用した経済活性化を掲げ、文化のGDPを2025年までに現在の約3倍の約18兆円をめざす※²こととし、学校教育においては、地域の歴史・文化等への興味や理解を促す活動を充実するとともに、質の高い文化・観光交流の促進と全国各地での文化プログラムの積極的な展開などに取り組むこととしています。

象徴空間の開設は、そうした動きをリード・加速するものであり、道内各地の歴史文化の鑑賞・体験施設・コンテンツや自然との共生をテーマとしたイベント、食文化、アクティビティなどの魅力とアイヌ文化の創造発展と経済の活性化・地域創生の好循環を生む取組を結びつける、官民協働の取組を喚起・支援します。

※1 国が取り組んでいる「民族共生の象徴となる空間」について知っていたか聞いたところ、「知っていた」とする者の割合が12.6%（「知っていた」5.4%+「言葉だけは聞いたことがある」7.1%）、「知らなかった」と答えた者の割合が85.5%となっている。

（平成25年10月 「アイヌ政策に関する世論調査」（内閣府実施））

※2 国内総生産（GDP）において、農林水産業1.2%、電気・ガス・水道業1.8%、金融・保険業4.5%を占めるのに対し、文化GDPは1.2%（約5兆円）（平成23年度）だが、諸外国では約3～4%程度を占める（米4.3%（2012）、仏3.2%（2011）、加3.0%（2010）、豪4.0%（2008-9））。

我が国でも、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「文化プログラム」の実施に集中的に取り組むことを契機として、地域活性化や文化外交、誰にでも活躍のチャンスがある社会の創出につながるような文化芸術について、民需主体の文化芸術振興モデルを創出、普及展開することにより、文化GDPを総GDPの3%（約1.8兆円）にまで拡大することを目指す。

（文化芸術資源を活用した経済活性化（文化GDPの拡大）平成28年4月 文化庁）

Ⅲ. アクションプランの推進

1. これまでの取組

- ◆2016年11月9日 象徴応援ネットワークの設立（50企業・団体が設立総会及びキックオフ・ミーティングに参画。象徴空間の意義と応援機運を共有。
- ◆ 11月～ 象徴空間告知ポスターの制作・掲示依頼（日英版 約2,850枚）
（道内全市町村及び小学校、JR各駅、金融機関、首都圏行政機関等）
キャンペーン用CD「イランカラプテ～・君に逢えてよかった」の複製配布
（庁内、街頭放送、電話保留音の活用など）
その他応援媒体の作成に係る個別の相談、地元経済団体との活性化プランの協議
- ◆2017年2月20日 ネットワーク企画部会、活性化部会合同部会の開催（協働事業の推進体制の整備に関する協議、自治体、企業等の広報活動、海外情報発信の事例発表）
- ◆ 2月13日 象徴空間プロモーション動画の撮影（横内会長、知事、新井満、秋辺デボ氏ほか）、カラオケ版制作。
- ◆ 3月30日 象徴空間プロモーション動画の公開

2. 今後の展開

象徴空間の開設に向けた「機運の醸成」や「情報発信」「誘客の促進」「受入体制・おもてなしの充実」、その他「象徴空間」開設を契機としたアイヌ文化の創造発展と経済の活性化・地域創生の好循環を生む取組について、国や道、市町村、関係団体等が主体となって実施するとともに、企業・団体等からご提案をいただき、ネットワークの協働事業として登録し、総合的な情報発信や関係機関・事業とのマッチングを行い、多様な主体による取組を喚起・支援します。

（1）道・国、市町村、関係団体等による連携事業の共有と発信

道や国、市町村、公益団体等が主体となっていく、象徴空間開設に係る施設整備や調査事業、機運醸成、情報発信・誘客促進、受入体制整備及び連携する、文化、観光、産業の振興、人材育成、国際交流などの取組（リンケージ事業）を把握・情報発信を行い、幅広い参加と協力を促進します。

（2）「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」パートナーシップ事業の提案募集

企業・団体等の皆様からのアイデアやご協力の具体化と効果的な展開をサポートするため、「民族共生象徴空間交流促進官民ネットワーク・パートナーシップ事業」提案募集に関する実施要領を定め、次のプログラムを募集します。

ア. 機運醸成プログラム

「象徴空間」開設に向けて、道民、経済界等が一丸となって道内機運を醸成するプログラム

- 歓迎・利用促進機運の醸成
- 象徴空間開設の周知PR
- 文化・観光・地域振興施策との連携

イ. 情報発信・誘客促進プログラム

「象徴空間」開設に向けたプロモーション活動やアイヌ文化と北海道の魅力を国内外に広く伝えるプログラム

- 道外・国外でのプロモーション・PR媒体の活用
- 環境・多文化共生イベントとのコラボ
- 東京オリパラ開会式や文化プログラムなどとの連動

ウ. 受入体制・おもてなしの充実プログラム

国内外のお客様を受け入れる体制を整え、最上のおもてなしをするプログラム

- 「イランカラプテ」挨拶の道民浸透向上
- 宿泊・交通・買い物多言語対応
- 象徴空間の企画演出やアクセス充実、周辺環境整備等に関する提案 など

エ. その他「象徴空間」開設を契機とした取組

道内各地のアイヌ文化等の魅力を活かした文化・観光・地域振興プログラム

【展開イメージ】

リンケージ事業

パートナーシップ事業

機運醸成プログラム
～全道につながる～

- 歓迎・利用促進機運の醸成
- 象徴空間開設の周知PR
- 文化・観光・地域振興施策との連携

【事業イメージ】

- ・ 応援商品・サービスの開発、販売
- ・ 店舗、事業所等におけるポスター、バナー等歓迎装飾の掲出
- ・ イメージソングの放送、応援動画の投稿、特集番組制作
- ・ カウントダウン行事の実施、出前授業・研修の受入
- ・ 記念ノベルティの制作・配付協力
- 北海道150年事業との連動 など

情報発信・誘客促進プログラム
～世界とつながる～

- 国内外へのプロモーション・PR媒体の活用
- 環境・多文化共生イベントとのコラボ
- 東京オリパラ開会式や国際文化プログラムの連動

【事業イメージ】

- ・ 国内外プロモーションへの参画や海外店舗等による情報発信
- ・ 国内外向け映像コンテンツの制作、機関誌等媒体での特集
- ・ マンガ等ポップカルチャーとのコラボによるアイヌ文化発信
- ・ 首都圏や海外集客施設やPRツールにおけるアイヌ工芸品、デザイン等の紹介
- ・ アイヌ文化等をめぐる旅行商品開発やバージョンアップ、移動支援
- ・ 東京オリパラ関連行事における文化発信、環境・多文化共生イベントの実施
- ・ 国際交流イベント、モニターツアー、インセンティブ旅行、修学旅行、文系合宿の誘致
- ・ 映画・ドラマ等へのプロダクトプレイスメント、海外メディアの招聘

受入体制・おもてなし充実プログラム
～未来へつながる～

- 「イランカラプテ」挨拶の道民浸透向上
- 宿泊・交通・買い物多言語対応
- 象徴空間の企画演出やアクセス充実、周辺環境整備等に関する提案

【事業イメージ】

- ・ 旅館・ホテル、交通・商業施設でのアイヌ語挨拶励行、デザインの活用
- ・ 多言語案内表示、語学接遇スキルの向上
- ・ 歓迎装飾・植花・植樹、清掃活動の実施
- ・ アイヌ料理、古式舞踊披露など文化鑑賞・体験メニューの提供
- ・ アイヌ文様や工芸品等の特産品開発コンテンツプロデュース
- ・ 象徴空間及び周辺施設に係る空間演出や人材育成に係る提案
- ・ 国際会議等におけるキット、エクスカージョン提供
- ・ 航空・鉄道、クルーズ、バス、レンタカー、ツーリング等多様なアクセスの充実提案

その他「象徴空間」開設を契機とした取組

- 道内各地の歴史文化の鑑賞・体験施設・コンテンツや自然との共生をテーマとしたイベント、食文化、アクティビティなどの魅力とアイヌ文化の創造発展と経済の活性化・地域創生の好循環を生む取組

提案



コーポレート
パートナー

企業・団体等が左記の事業への物品・マンパワー等経営資源※への協賛提供を通じて支援する取組（協賛）。

または、企業・団体等が左記の目的に呼応し、**企業等自らが主体となって企画実施**する取組（応援事業）。

※商品・サービス、施設、知的財産、マンパワー、事業活動、メディア、ノウハウ、資金等

登録



展開支援

パブリック
パートナー

道や国、市町村、公益団体等の主体による連携事業。

- ・ 観光振興
- ・ 文化振興
- ・ 産業振興
- ・ 人材育成
- ・ 歴史文化学習
- ・ 国際交流など

H29、3 とりまとめ「参考資料」参照）
随時更新予定

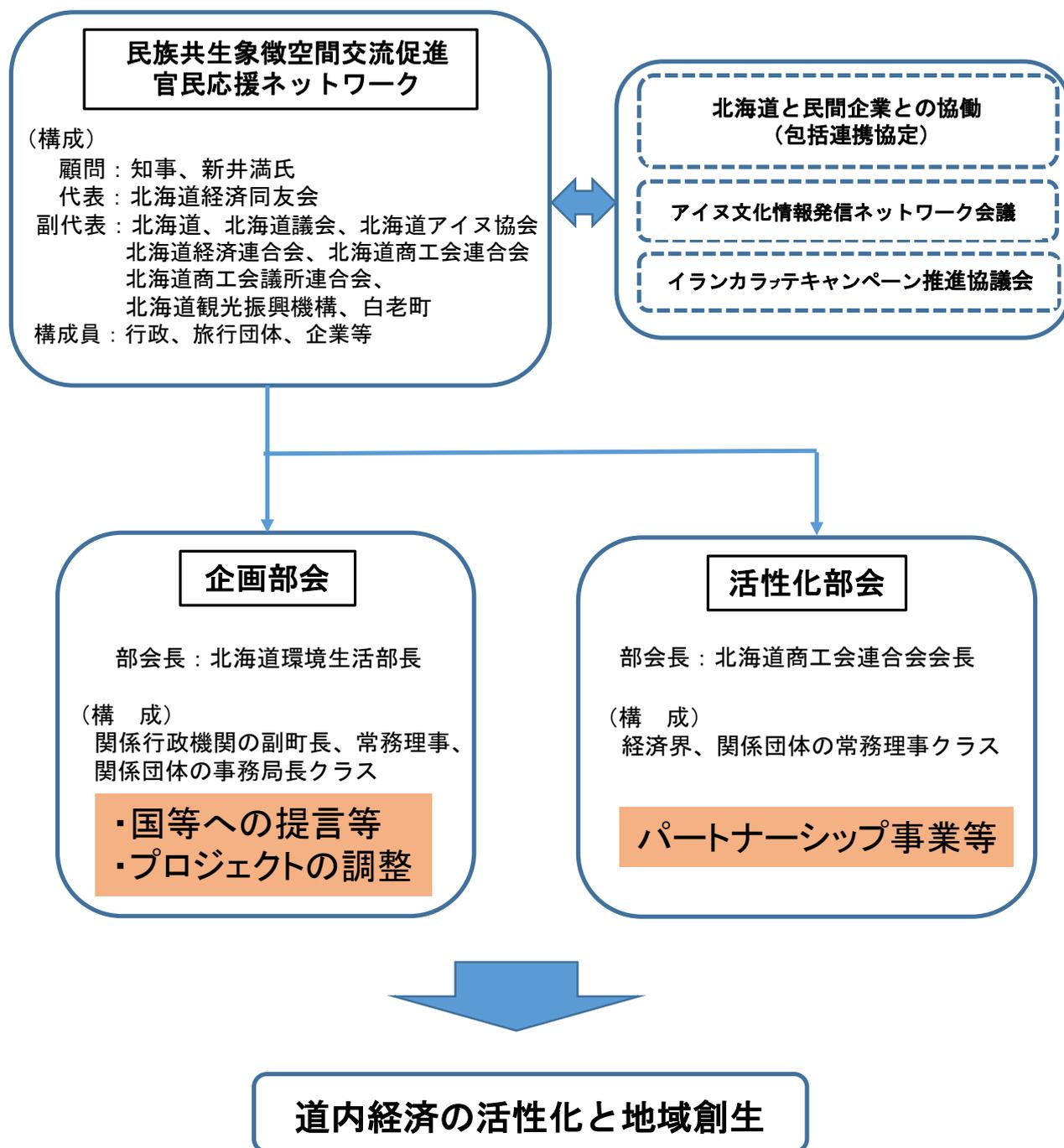
事業化及び効果的な事業展開をサポート

年間100万人超の
アイヌ文化復興・理解促進

本道経済の活性化と地域創生

3. 推進体制

応援ネットワークの下に、国や関係機関への必要な提案事項などの検討や各プロジェクトを調整するための「企画部会」と、誘客促進や道内各地のアイヌ文化等の魅力を活かした観光・地域振興や情報発信プロジェクトを喚起・推進するための「活性化部会」を設け、道との「包括連携協定企業」や「アイヌ文化情報発信ネットワーク」、「イランカラテキャンペーン推進協議会」などと連携を図りながら、オール北海道で、象徴空間開設に向けた取組を応援します。



4. 展開スケジュール

行政や公益団体の取組をリアルタイムに共有・発信しながら、2020年の象徴空間の一般開放及び立ち上がりの誘客促進に向けて、各項目を加速し、各事業の効果を検証・改善しながら、応援の輪を広げていきます。

項目／年	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・応援ネットワーク設立 ・部会(年1~2回) ・アクションプラン作成 				象徴空間一般公開
事業募集 (リンケージ・パートナーシップ事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ事業提案募集要領策定 ・団体への事業照会、とりまとめ公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ事業募集、マッチング対応事業化登録 		カウ	
機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・象徴空間開設PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館や公園のイメージ図等完成に伴うポスターのリニューアル等PR強化 		・象徴空間の愛称決定に伴うポスターのリニューアル等機運醸成の強化	
情報発信・誘客促進		<ul style="list-style-type: none"> ・道内外、海外への象徴空間の情報発信、アイヌ文化及び北海道の魅力発信、誘客促進 		ダウン	
受入体制・おもてなしの充実		<ul style="list-style-type: none"> ・各種説明看板等の多言語化、職員の言語研修等 			
その他		「象徴空間」開設を契機とした文化・観光・産業振興、地域創生等の取組との連携			

参 考 資 料

- ・平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧
(リンクージ事業)
- ・アイヌ文化を紹介する博物館・展示施設等
- ・「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」パートナーシップ事業提案募集要領
- ・民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク規約

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンクージュ事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
機運醸成 情報発信 誘客促進	民族共生象徴空間リンクージュ事業	北海道	2020年東京オリパラ大会に合わせた民族共生象徴空間の一般公開に向けた機運醸成と国内外へのアイヌ文化発信による誘客促進。	平成29年度～ 平成31年度	道内:札幌ほか 道外:首都圏 海外:ハワイ、台湾
機運醸成	アイヌアートモニュメントの設置	札幌市	先住民族であるアイヌ民族に対する市民理解の促進を目的として「自然」をテーマとしたアイヌ民族を象徴するモニュメント(タペストリー)を設置。	通年	・札幌市役所本庁舎1階ロビー ・JRタワー1階西コンコース ・中央区民センター2階
機運醸成	アイヌ文化を発信する空間整備事業	札幌市	地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部にアイヌ文化を発信する空間を整備する。 平成29年度は空間の実施設計と一部の工事を実施。	通年	地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部
機運醸成	象徴空間開設PR用郵便ポスト制作	白老町	白老郵便局の協力の下、町内主要箇所の郵便ポストにアイヌ文様を施し町内の機運醸成を図る	8月	白老町内
機運醸成	象徴空間開設PR用ステッカー制作	白老町	象徴空間開設PRステッカーを作成し町内の店舗等に掲示する	8月	白老町内
機運醸成	象徴空間開設PR用ポスター・チラシ制作	白老町	博物館や公園施設の概要が示されたら既存ポスターやチラシのリニューアルを図る	8月	白老町内
機運醸成	「ばしふいっくびいなす」白老寄港	白老町	初寄港を記念して、アイヌ文化のPRや象徴空間開設PRを実施	5月11日	白老港
機運醸成	第28回白老牛肉まつり	白老牛肉まつり実行委員会	特設ブースを設置し象徴空間開設PRを実施	6月3日・4日	白老川河川敷地
情報発信・ 誘客促進	森林景観を活かした観光資源の創出事業	林野庁	国有林の「レクリエーションの森」のうち、特に観光振興を図るために地域と連携して手を入れる箇所をモデル箇所として選定し、多言語ウェブサイト・パンフレットの制作による情報発信や利用者数等の効果測定調査を行う。	平成29年6月～ 平成30年3月頃	ポロト自然休養林 (白老町)
情報発信	アイヌ中小企業振興対策事業	北海道 北海道経済産業局	アイヌ民工芸品の展示会開催、アイヌ工芸者技術研修の実施。	平成29年度	新千歳空港、札幌市、東京都ほか
情報発信・ 誘客促進	青少年国際文化交流研修事業	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つアイヌの青少年を募集し、海外の少数民族や先住民族との交流を行い、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を学ぶ。	平成30年1月	アメリカ合衆国ハワイ州
情報発信・ 誘客促進	アイヌ工芸品展	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	展覧会名「現れよ。森羅の生命―木彫家 藤戸竹喜の世界」として、木彫家藤戸竹喜氏の作品を中心とした展覧会を実施。	①平成29年10月14日～ 平成29年12月3日 ②実施時期調整中	①札幌芸術の森美術館(札幌市南区) ②国立民族学博物館(大阪府吹田市)
情報発信・ 誘客促進	アイヌ文化フェスティバル	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	道内2会場、道外3会場においてアイヌ古式舞踊や口承文芸、アイヌ民族楽器の公演やアイヌの歴史や文化に関する講演の他、木彫や刺繍等の実演を実施。	①平成29年6月10日 ②平成29年7月15日 ③平成29年8月26日 ④平成29年10月29日 ⑤平成29年11月26日	①名寄市民文化センター(名寄市) ②かでの2・7(札幌市) ③品川区総合区民会館(東京都品川区) ④宮崎市民プラザホール(宮崎県宮崎市) ⑤相模原市民会館(神奈川県相模原市)
情報発信	アイヌ工芸作品コンテスト	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	アイヌ文様等のアイヌ伝統技術を用いた工芸品やそれらを活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰。	表彰式 平成29年8月21日 展示 ①平成29年8月18日	①かでの2・7(札幌市) ②品川区総合区民会館(東京都品川区)
情報発信	絵本作画	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	アイヌの伝統等を題材とした絵本原作を募集し、優れた作品を表彰するとともに絵本として刊行し、道内幼稚園等に配布する。	原作募集 平成29年6月～9月	—
情報発信・ 誘客促進	アイヌの伝統や文化に関する講演会	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	アイヌの歴史・伝統やアイヌ文化等をテーマとした講演会を道内1会場、道外2会場で実施する。	①平成29年6月10日 ②平成29年10月29日 ③平成29年11月26日	①名寄市民文化センター(名寄市) ②宮崎市民プラザホール(宮崎県宮崎市)
情報発信・ 誘客促進	イランカラブテキャンペーン事業	アイヌ文化振興・ 研究推進機構	啓発ツールの作成配布の他、公共の場、観光地等における情報発信を行う。また、道内空港施設内において財団所蔵のアイヌ工芸資料の展示を行う。	通年	新千歳空港、釧路空港、函館空港、帯広空港
誘客促進・ 情報発信	アドベンチャートラベル情報発信事業	【仮】北海道アドベンチャートラベル協議会設立事務局 北海道運輸局	世界自然遺産である知床をはじめとする6つの国立公園及び5つの国定公園に代表される北海道の自然、野鳥やアイヌ文化といった世界でも北海道にしかないコンテンツで欧米からの誘客を図るため、モデルコースをHP(WEB)を通じて継続的に情報発信をするとともに、世界の一流ネイチャーツアー関係の旅行会社が所属する「アドベンチャー・トラベル・トレッド・アソシエーション(ATTA)」が主催するワールドサミット(アルゼンチン)に出展し、殆ど知られていない北海道の認知度向上及び誘客促進を図る。	平成29年9月	道東ほか
情報発信	2017年 国際先住民族の日記念事業	北海道アイヌ協会	「国際先住民族の日」の制定趣旨とアイヌ民族の歴史・文化・現状についての啓発と教育を進める。講演、報告、自由討議 など	平成29年8月	かでの2/7

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンクージュ事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
情報発信	アイヌ民族文化祭	北海道アイヌ協会	アイヌ文化公演等の公開、発表を行うとともに、国連の先住民族の人権進展、文化・歴史等を一般市民に紹介する。 ワークショップ、公演、特別公演など	平成29年11月	旭川市
情報発信	北海道アイヌ伝統工芸展	北海道アイヌ協会	アイヌ伝統工芸品(アイヌ民芸品)の製作・伝承技術の向上と普及啓発のため展示会を開催する。アイヌ工芸品の展示、優秀工芸師の製作実演、体験ワークショップなど	平成30年2月	かでの2/7
情報発信・誘客促進	アイヌ文化交流事業(国際文化交流助成)	アイヌ文化活動に携わる個人、団体	アイヌ文化活動に携わる個人、団体の国際交流活動に対して経費の一部を助成。	平成29年4月～平成30年2月	—
情報発信・誘客促進	アイヌの歴史や文化をテーマとしたセミナーの開催	アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌの歴史や文化をテーマとしたセミナーを道内2会場、道外2会場で実施する。	①平成29年8月7日～平成29年8月22日 ②平成29年11月17日～平成29年11月18日 ③平成29年7月25日～平成29年8月25日 ④平成29年10月28日	①かでの2・7(札幌市) ②胆振地方男女平等参画センター(室蘭市) ③アイヌ文化交流センター(東京都中央区) ④沖縄県立博物館・美術館
情報発信(再掲)	アイヌアートモニュメントの設置	札幌市	先住民族であるアイヌ民族に対する市民理解の促進を目的として「自然」をテーマとしたアイヌ民族を象徴するモニュメント(タペストリー)を設置。	通年	・札幌市役所本庁舎1階ロビー ・JRタワー1階西コンコース ・中央区民センター2階
情報発信	アイヌの歴史や文化等に関する情報発信	札幌市	柱にアイヌ文様のタペストリーを設置するとともに壁に「札幌の地名とアイヌ民族」紹介コーナーを設置し、アイヌの歴史や文化等に関する情報を発信。	通年	札幌駅前通地下歩行空間(札幌駅前出入口付近)
情報発信	市民参加型アイヌアートモニュメント制作・設置	札幌市	市民がアイヌ文化に身近に触れる機会を創出するため、アイヌアートモニュメントをアイヌの方々と共同で制作し、区民センター等に設置。	未定	未定
情報発信	札幌市アイヌ文化交流センターPR事業	札幌市	サっぽロ夏まつりの「ふるさと北海道PRステージ」において、札幌市アイヌ文化交流センターの紹介及びアイヌミュージックライブを実施予定。	平成29年8月上旬	さっぽろ夏まつり会場(大通公園)
情報発信	さっぽろ雪まつり「チ・カ・ホ イベント」アイヌ伝統文化体験コーナー(予定)	札幌市	さっぽろ雪まつりと連動して実施された「チ・カ・ホ イベント」の中で、アイヌ文化交流コーナーを設け、アイヌ伝統文化体験(ムックリ等伝統楽器実演、文様制作、民族衣装試着等)や工芸品販売を実施予定。	さっぽろ雪まつり開催時期	札幌駅前通地下歩行空間
情報発信	アイヌ民族古式舞踊(輪踊り)の実施	札幌市	来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊(輪踊り)を実施。	平成29年6月頃	札幌市アイヌ文化交流センター
情報発信	札幌市アイヌ文化交流センターイベントの実施	札幌市	アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ、刺繍等製作体験、昔話、昔遊び、紙芝居等を実施。	平成29年6月～10月のうち、6日	札幌市アイヌ文化交流センター
情報発信	小中高校生団体体験プログラム	札幌市	小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施。	通年(65校を予定)	札幌市アイヌ文化交流センター
情報発信	小中高校生団体出前体験プログラム	札幌市	札幌市アイヌ文化交流センターから遠隔地にあるなど、体験プログラム参加が困難な学校に対し、出前方式でのプログラム提供を実施。	通年(30校を予定)	要望のある学校
情報発信	アイヌの民具づくり体験(予定)	札幌市	地域の特徴的な民具を題材として民具づくり体験を実施予定。	1月下旬から3月上旬(2コース、各5日間を予定)	中央区民センター(予定)
情報発信	アイヌ料理の調理と試食体験(予定)	札幌市	自然素材を活用しアイヌの伝統料理の調理講習及び試食を実施予定。	2月(2回を予定)	札幌エルプラザ(予定)
情報発信	アイヌの子どもの遊び体験(予定)	札幌市	植栽物を使ったアイヌの子どもの遊びの実体験を実施予定。	2月(2回を予定)	札幌市アイヌ文化交流センター
情報発信(再掲)	アイヌ文化を発信する空間整備事業	札幌市	地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部にアイヌ文化を発信する空間を整備する。平成29年度は空間の実施設計と一部の工事を実施。	通年	地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部
情報発信・誘客促進	アイヌ語地名ツアー	旭川市博物館	地形や土地の特徴、自然資源の所在などを示したアイヌ語地名や岩を巡ることを通じて、アイヌの自然観・世界観・文化を理解し普及することを目的とする。	平成29年春もしくは秋	市内アイヌ語地名表示板設置箇所等
情報発信	アイヌ文化ふれあいまつり	旭川市博物館	アイヌ古式舞踊の披露、アイヌポーカルユニットMAREWREWのミニコンサート、ムックリ演奏体験、アイヌ食文化体験、アイヌ伝統工芸展示など、市民や観光客などがアイヌ文化に触れるきっかけを創出することにより、アイヌ文化に対する理解の促進とアイヌ文化の振興を図る。	平成29年9月連休	市内
情報発信	アイヌ文化に親しむ日	旭川市博物館	博物館を無料開放するとともに、アイヌ文化に関わる様々なイベント・ワークショップを開催する。	平成29年11月3日	旭川市博物館

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンケージ事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
情報発信	アイヌ民族音楽会	旭川市博物館	アイヌ民族の伝統文化を児童・生徒に広く紹介し、アイヌ文化に対する理解促進を図るため、市内小・中学校、10校を対象に音楽会を開催する。	平成29年11月～12月	市内小中学校
情報発信	アイヌ語地名表示板設置	旭川市博物館	地形の特徴や産物、世界観や暮らしの有様などが反映されたアイヌ語地名の表示板を設置することにより、アイヌ文化の伝承及び普及活動への支援並びに市民への理解の促進を図ることを目的とする。	平成29年9月連休	市内のアイヌ語地名が残る土地もしくは視点場
情報発信	常設展示	帯広市	ホールに民具・衣装等を含むアイヌ資料を展示	通年	帯広市生活館
情報発信	アイヌ文化交流会 ～世界の先住民の国際デー～	帯広市	「世界の先住民の国際デー」に先駆け、アイヌ文化・歴史の紹介、体験教室等を実施		とちかちプラザ(帯広市)
情報発信	帯広市アイヌ生活文化展(アイヌ文化にふれあう集い)	帯広市	伝統工芸品の展示、カムイノミの儀式や伝統舞踊の披露、伝統料理の試食、刺繍体験 など		帯広市生活館
情報発信	アイヌ文化月間	帯広市	生活文化展にあわせ、各館においてコーナーの設置、パネル展などの催しを実施		帯広市内各施設(生活館、百年記念館、図書館、児童会館、JICA帯広センター)
情報発信	伝統工芸展(移動展)	帯広市	展示ケースにて、民具・儀礼具当の展示を実施		帯広市内各施設(小学校、生活館、とちかち帯広空港、市役所)を巡回
情報発信	アイヌ民族木綿衣特別展示	釧路市	アイヌ研究の専門家から世界最古級の可能性が高いとの評価を受けている釧路市立博物館所蔵の「アイヌ木綿衣」の特別展示を行い、市民、観光客を通じ、アイヌ文化への理解を広める。	未定	釧路市立博物館
情報発信	アイヌ文化講座 ～学んでわかるアイヌ文化～	登別市教育委員会	アイヌ文化への知識と関心をより強め、そしてアイヌ文化を正しく理解し、郷土の大切な財産として認識してもらうことを目的に、講演会などを実施。	未定	登別市民会館(予定)
情報発信	資料館講座	弟子屈町教育委員会	弟子屈町の歴史について学ぶ機会を提供し、その中でアイヌ文化についても取り上げる。内容を変えながら全3回の日程で実施する。	平成29年8月5日 平成29年8月9日 平成29年9月23日	弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館 他
情報発信	チセ移転改築事業	白糠町	チセを市街地に移転改築し、アイヌの歴史、伝統・文化を継承しながら、新たな文化を創造する拠点施設として活用し、民族交流、体験観光、アイヌの衣食住に関わる商品開発事業を展開し、町内外へ情報発信する。	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	白糠町東3条北1丁目2番地27
情報発信	第48回チブサンケ	チブサンケ実行委員会	カムイノミ、アイヌ古式舞踊や工芸品の制作体験、古老によるユカラと昔話のお話やチブサンケ(舟おろしの儀式)の実施。	8月20日	平取町二風谷(二風谷博物館周辺及び沙流川)
情報発信	第49回チブサンケ共催事業 ウトムカラ	平取アイヌ協会青年部	「アイヌの結婚式」のビデオを参考に進行の流れや所作をまとめ、記録されている知見をもとに、青年部が検討準備をして儀式を執り行う。	8月19日	平取町二風谷(博物館ポロチセ)
情報発信	第7回ウレクク	平取アイヌ協会青年部	アイヌの子どもの遊び体験、地元保存会やアイヌ語教室子どもの部、町外伝承団体の古式舞踊等音楽ライブを実施し、地域住民及び同世代との交流の場とする。	6月24日	平取町二風谷(二風谷生活館)
情報発信	第29回シシリムカアイヌ文化祭	シシリムカアイヌ文化祭実行委員会	アイヌ民族の伝統文化を受け継ぐために行われている、様々な活動の成果を発表する機会として開催し、地域住民及び参加者に対して、アイヌ文化に対する理解の促進を図る。	2月18日	平取町本町(平取町中央公民館)
情報発信・誘客促進	伝統工芸品産業支援事業	二風谷民芸組合	アイヌ民芸品に係る後継者育成、原材料確保、需要開拓(展示会出展、パンフ制作)、意匠開発等。	平成29年度	平取町、札幌市、東京都、台湾ほか
情報発信	二風谷アイヌ文化博物館企画展 「エカシの記憶を辿って ～昭和のアイヌの暮らし～」	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	川奈野一信氏のライフストーリー(人生の物語)を展示する。昭和9年に荷負で生まれて以降、今日までに至るまでの仕事や培ってきた暮らしの知恵、家族、アイヌ文化継承への携わり方などについて、古写真や映像などを交えて紹介する。	平成29年4月1日～5月31日	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
情報発信	二風谷アイヌ文化博物館博物館公開セミナー「エカシとフチの想いをみつめて -記録映画を撮る-」(仮称)	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	第23回特別展の開催に先立ってセミナーを実施。講師は映画製作プロジェクトの主要メンバーで、監督を務めた溝口尚美氏。当日は出演者4名(木幡サチ子氏、萱野れい子氏、川奈野一信氏、鍋澤保氏)にもアイヌ文化継承の想いを語って頂き、合わせて映画の試写会も行う。	平成29年9月17日	沙流川歴史館レクチャーホール
情報発信	二風谷アイヌ文化博物館第23回特別展「アイヌ文化継承の今 -記録映画製作の取り組み-」(仮称)	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	平取町におけるアイヌ文化継承活動の映画製作の取り組みを展示する。主な出演者は木幡サチ子氏、萱野れい子氏、川奈野一信氏、鍋澤保氏で、4人の目を通したアイヌ文化継承の今を映像や写真で紹介する。また、シシリムカアイヌ文化祭、チブサンケなどの様子や地域の文化的景観も納めて、平取ならではの文化継承の今を伝えていく。	平成29年10月15日～12月15日	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
情報発信	カムイノミ・イチャルパ祭開催事業	主催 伊達アイヌ協会 共催 伊達市教育委員会	カムイ(神)への感謝と先祖供養の儀式を行う。	H29.6.25	伊達市噴火湾文化研究所

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンク事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
情報発信	カムイノミ・イチャルパ祭開催事業	主催 伊達アイヌ協会 共催 伊達市教育委員会	カムイ(神)への感謝と先祖供養の儀式を行う。	H29.6.25	伊達市噴火湾文化研究所
情報発信	アイヌ伝統儀式の一般公開 ①丸木舟川下り ②カムイチェブノミ ③アシリパ・カムイノミ	苫小牧アイヌ協会	アイヌ文化の伝承・保存を目的とし、その文化の理解を促進するため伝統儀式を一般公開している。	①7月 ②9月 ③1月	①苫小牧沼ノ端橋下流 ②オートリゾート苫小牧アルテン ③苫小牧市生活館
情報発信・誘客促進	アイヌ文化交流事業(国内文化交流助成)	地区アイヌ協会他	アシリチェブノミ等に伝統行事等を通じたアイヌ文化の体験やアイヌ民族との交流事業を開催する事業に対して経費の一部を助成。	平成29年4月～ 平成30年2月	—
情報発信・誘客促進	中国教育旅行関係者招請	北海道登別洞爺広域観光圏協議会 北海道運輸局	中国(北京)の学校関係者及びそのパートナーである旅行会社を招請し、登別・札幌でのスキー学習や、アイヌ文化、有珠山ジオパークでの防災・減災教育など、教育旅行としての北海道の素材価値を体験・視察してもらい中国からの修学旅行の誘致を図る。	平成30年2月	札幌、登別洞爺広域観光圏協議会エリア
情報発信・誘客促進	タイ旅行会社・セディア招請、現地BtoCセミナー	北海道登別洞爺広域観光圏協議会 北海道運輸局	タイから旅行会社関係者、メディアを招請し、タイ国内にて空前の大ヒットとなっている映画が北海道を舞台としていることから、ロケ地などの情報やそこで体験できる北海道の歴史、アイヌ文化などを視察等を行うことで、北海道への旅行商品造成を図るとともに、現地BtoCセミナーを開催し北海道を体験した映画出演者などが、ロケ地などの情報やそこで体験情報を直接紹介することで誘客を図る。	平成29年7月	札幌、登別洞爺広域観光圏協議会エリア
情報発信	総合展示(常設展示)	北海道博物館	総合展示で全5テーマのうち第2テーマ「アイヌ文化の世界」等で、アイヌ民族の文化と歴史に関する資料等を展示	通年	北海道博物館
情報発信	第10回企画テーマ展「カムイとアイヌの物語」	北海道博物館	アイヌ民族が伝えてきた物語などに描かれたカムイの姿や、カムイとアイヌ(人間)との関わり合いのようすを通して、アイヌ民俗の信仰や世界観を紹介。	平成30年2月2日～4月8日	北海道博物館
情報発信	ミュージアムカレッジ～学校をつくる-近代北海道のアイヌ民族による小学校設置の取り組み～	北海道博物館	北海道の各地で移住者が増加した1890年代。幾つかの地域で、アイヌ民族自身のなかから、自分たちの村に小学校を作ろう、という動きが見られるようになる。総合展示第2テーマで取り上げている帯広の事例などを中心に、時代のなかを歩もうとした人々の歴史をさぐる。	平成29年6月11日	北海道博物館
情報発信	ちゃれんがワークショップ～アイヌ民族の編みものをつくる-エムシアットの技術でプレスレット～	北海道博物館	アイヌ民族の代表的な手工芸の一つに、刀帯や荷縄などを作る編みの技術がある。今回は、その技術の基本を習得することを目標に、プレスレット作り挑戦する。午前中には樹皮繊維を用いてタテ糸を製作し、午後にはヨコ糸の編み込みに進む。	平成29年10月22日	北海道博物館
情報発信	ミュージアムコンサート アイヌ音楽ライブ	北海道博物館	アイヌ民族の伝統的な歌・舞踊は、今日まで各地の個人・団体により伝承されてきた。過去の音源から伝統的な歌・舞踊を忠実に再現し、さらにそれを発展させることで高い評価を得ている女性ヴォーカルグループMAREWREW(マレウレウ)が、さまざまな楽曲を演じる。	平成29年11月3日	北海道博物館
情報発信	ちゃれんが子どもクラブ～アイヌ音楽うたおう・おどろう・ならそう・ひこう～	北海道博物館	アイヌの伝統的な歌・踊り・楽器を、かけ足で体験する。鳥の鳴き声の歌、遊び歌、次々追いかけるように歌う「ウコウク」という形式の歌、歌いながらの輪踊りや動物のしぐさをおり込んだ踊り、ムックリやトンコリといった楽器の入門編などの講座。	平成29年11月11日	北海道博物館
情報発信	ミュージアムカレッジ～アイヌ民族の刀帯-その変化を探る～	北海道博物館	アイヌ民族の民具という、むかし使われていたものという漠然としたイメージがあるかもしれないが、実際には、時代の中で様々に変化した、現在まで受け継がれてきた。今回は、男性が刀を身につける際に用いる刀帯を取りあげて、その変化に迫る。	平成29年11月19日	北海道博物館
情報発信	アイヌ語講座～見てみよう！カムイとアイヌの物語～	北海道博物館	アイヌ口承文芸を題材にしたアニメーションやデジタルアニメを上映する。物語の内容や、アニメに登場するモノについて解説を聞きながら、アイヌの物語世界をのぞいてみる。最後は、アニメといっしょに、アイヌ語の発音練習もしてみる。	平成30年2月24日 平成30年3月10日 平成30年3月24日	北海道博物館
情報発信	ちゃれんが子どもクラブ～アイヌ語であそぼう～	北海道博物館	「アイヌ語ブロック」という4色のブロックを並べて、いろいろなアイヌ語の文をつくり、アイヌ語をたのしく学ぶ。	平成30年3月3日	北海道博物館
情報発信	講演会～アイヌの物語世界～	北海道博物館	アイヌ口承文芸研究の第一人者であり、自ら首都圏や北海道で継承を支援する取り組みを続けたきた中川裕さんを講師に迎え、アイヌ口承文芸の「魅力」と「現在の学習・継承の取り組み」(これからの課題と展望)などを語っていただく。	平成30年3月17日	北海道博物館
情報発信	ミュージアムカレッジ～アイヌ音楽を知らない人のためのアイヌ音楽入門講座～	北海道博物館	アイヌ音楽を、「よく知らないけれど興味がある」「少しは聞いたことがあるけどよくわからなかった」という、アイヌ音楽ビギナーのためのアイヌ音楽入門講座。主に歌謡を中心に、民族音楽学の立場からみたアイヌ音楽の特徴とその魅力、聴きどころについて解説する。	平成30年3月25日	北海道博物館
誘客促進	森林景観を活かした観光資源の創出事業	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署	国有林の「レクリエーションの森」のうち、特に観光振興を図るために地域と連携して手を入れる箇所をモデル箇所として選定し、重点的な環境整備を行う。老朽化した施設の撤去や補修・改修等を実施する。	平成29年度～ 平成30年度	ポロト自然休養林(白老町)

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンケージ事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
誘客促進	地域観光活性化促進事業	(公社)北海道観光振興機構	地域の関係者が連携して行う新たな商品づくり等の取組を支援する。 対象者:観光協会、協議会等 補助率:1/2(上限:200万円、下限:100万円)	H29.4~H30.3	道内各所
誘客促進	広域観光推進事業	(公社)北海道観光振興機構	地域の観光協会等の連携による広域的な取組に対し、支援を行う。 対象者:観光協会、協議会等 補助率:1/2(上限:400万円、下限:50万円)	H29.4~H30.3	道内各所
誘客促進	平取町文化的景観活用・普及啓発事業支援業務	平取町	重要文化的景観ガイド(地域ホスト)の養成。 都市住民を対象とした文化的景観普及ツアーの企画・運営。	5月から3月まで	平取町内
誘客促進	地域資源を活用したモニターツアーの実施	平取町地域活性化協議会(実践型地域雇用創造事業)	文化的景観等地域資源のガイド。 工芸品新商品の組み立て体験。	4月から3月までに4回	平取町内
誘客促進	鶴川・沙流川WAKUWAKU(わくわく)協議会活性化事業	鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会(地方創生推進交付金広域連携事業)	アイヌ文化や恐竜化石等歴史文化や豊かな自然に恵まれた鶴川・沙流川流域を訪れる観光客が相互に回遊し、ネットワーク化を図るとともに観光客の受入環境整備を行う。	平成29年度	むかわ町・日高町・平取町
誘客促進・情報発信	こたんまつり	一般社団法人旭川観光コンベンション協会	旭川市民や観光客が神居古潭の自然や文化に親しんでもらい、新しい神居古潭の魅力の創造と地域の活性化を図るために、旭川市・旭川商工会議所・一般社団法人旭川観光コンベンション協会・西神居地区市民委員会・旭川チカップニアイヌ民族文化保存会などの構成団体が一体となって取り組む観光文化産業活動として位置づけ、道内外に神居古潭の魅力のPRや、観光客の誘致促進とともに、地域や特産物のイメージアップと需要拡大を図る。	平成29年9月連休	神居古潭
受入体制・おもてなしの充実	国立民族共生公園	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部	国立民族共生公園施設の整備 ・体験交流ホール ・体験学習館 ・工房	平成29年度~平成31年度	象徴空間中核区域
受入体制(再掲)	森林景観を活かした観光資源の創出事業	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署	国有林の「レクリエーションの森」のうち、特に観光振興を図るために地域と連携して手を入れる箇所をモデル箇所として選定し、重点的な環境整備を行う。老朽化した施設の撤去や補修・改修等を実施する。	平成29年度~平成30年度	ポロト自然休養林(白老町)
受入体制・おもてなしの充実	国立アイヌ民族博物館建設工事の充実	文化庁	『アイヌ文化の復興等を促進する「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針』(平成26年6月閣議決定)及び「経済財政運営と改革の基本方針2016」に基づき、民族共生象徴空間内に国立アイヌ民族博物館を整備する。	平成29年度から平成31年度	北海道白老郡白老町
受入体制	ポロト公園線改良舗装事業	白老町	実施設計や用地測量業務等の実施	通年	白老町若草町
受入体制	白老駅周辺施設整備調査業務	白老町	白老駅舎や跨線橋、ホーム等の整備方法の検討のため現況調査を実施	通年	白老駅周辺
受入体制	象徴空間周辺整備事業	白老町	象徴空間周辺整備に係る支障物件の解体撤去等	通年	中核区域周辺
受入体制	象徴空間予定地整備事業	白老町	象徴空間予定地に係る支障物件の解体撤去	通年	中核区域内
受入体制・おもてなしの充実	阿寒湖アイヌ施策推進事業	釧路市	阿寒湖温泉地区におけるアイヌ伝統文化の国際的ブランド化に関する戦略づくり	平成29年度	釧路市内(阿寒湖)
受入体制・おもてなしの充実	平取町民芸品共同作業場建替事業	平取町	伝統的工芸品の指定を契機に、伝統的な技術・技法を葆ちつつ、人材育成、ブランド化、新たな商品開発を行いながら、伝統工芸に係る産業の振興を図るために共同作業所を新設する。	平成29年度	平取町二風谷
受入体制・おもてなしの充実	工芸品新商品開発	平取町地域活性化協議会(実践型地域雇用創造事業)	地域内事業者による新商品開発のノウハウや開拓した販路を成果品として譲渡する。	平成29年度	平取町、札幌市
受入体制・おもてなしの充実	観光案内所の試行・運営	平取町地域活性化協議会(実践型地域雇用創造事業)	博物館、文化的景観等の観光情報の提供サービスを実施する。	8月上旬から9月下旬	平取町荷葉(予定)
受入体制・おもてなしの充実	有償ガイドの育成	平取町地域活性化協議会(実践型地域雇用創造事業)	接客・地域ガイド講習。 接客・インバウンド対応・地域ガイド講習。	7月上旬から8月下旬(予定)	平取町内

平成29年度民族共生象徴空間及びアイヌ文化の振興・普及啓発等に係る関連事業一覧

(リンク事業)

(H29.3調査)

事業分類	事業名	実施者(主催者)	事業概要	実施予定時期	実施場所
受入体制(再掲)	鶴川・沙流川WAKUWAKU(わくわく)協議会活性化事業	鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会(地方創生推進交付金広域連携事業)	アイヌ文化や恐竜化石等歴史文化や豊かな自然に恵まれた鶴川・沙流川流域を訪れる観光客が相互に回遊し、ネットワーク化を図るとともに観光客の受入環境整備を行う。	平成29年度	むかわ町・日高町・平取町
おもてなしの充実	アイヌ文化体験講座の実施	札幌市	アイヌ語、手芸、工芸、料理等の体験講座等を実施。	通年(15回前後を予定)	札幌市アイヌ文化交流センター他
受入体制(再掲)	チセ移転改築事業	白糠町	チセを市街地に移転改築し、アイヌの歴史、伝統・文化を継承しながら、新たな文化を創造する拠点施設として活用し、民族交流、体験観光、アイヌの衣食住に関わる商品開発事業を展開し、町内外へ情報発信する。	平成29年4月1日～平成30年3月31日	白糠町東3条北1丁目2番地27
その他	アイヌ伝統工芸講習会等の開催(アイヌ刺繍、木彫、料理等)	苫小牧市	多くの市民にアイヌ民族への理解を求めるとともに、アイヌ伝統工芸等の技術習得を目的に、各種講習会を実施。	平成29年4月～平成30年3月	苫小牧市生活館
その他	遺骨等の慰霊及び管理のための施設	国土交通省 北海道開発局	遺骨等の慰霊及び管理のための施設の整備 ・「墓所」となる建物 ・慰霊行事を行うための施設 ・モニュメント ・前庭(広場) 他	平成29年度～平成31年度	白老町字白老(ボロト湖東側高台)
その他	イオル整備事業	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	空間整備と管理運営、体験交流、普及啓発事業。	平成29年度	平取町本町・二風谷 外
その他	平成29年度アイヌ文化普及啓発セミナー	公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構(共催)室蘭市教育委員会	アイヌの歴史や文化に関し興味を持つ学校教育・社会教育関係者を対象に複数分野の講座を2日間にわたり実施	平成29年11月予定	室蘭市市民会館
その他	「21世紀・アイヌ文化伝承の森」プロジェクト	北海道森林管理局・平取町・平取アイヌ協会	アイヌの文化伝承に必要な工芸品の原材料となる森林再生のため、広葉樹植栽箇所での生育調査や新たな取組のための現地検討等を実施。	平成29年5月～12月頃	平取町内の国有林
その他	アイヌ文化研修会の実施	(公社)北海道観光振興機構 (公社)日本観光振興協会	観光客に直接的に案内業務を行うバスガイドやボランティアガイド等に対し、アイヌ文化の正しい知識と理解を深めて観光客に正しく紹介できるよう実施。	平成29年11月	札幌及び地方都市
その他(再掲)	アイヌ文化体験講座の実施	札幌市	アイヌ語、手芸、工芸、料理等の体験講座等を実施。	通年(15回前後を予定)	札幌市アイヌ文化交流センター他
その他	アイヌ語講座	旭川市博物館	アイヌの人びとの言葉を学びつつ、アイヌ文化を広く紹介することを目的とする。	未定	旭川市博物館
その他	アイヌ刺繍教室	帯広市	アイヌ文化の紹介を目的とした刺繍教室を開催		帯広市生活館
その他	二風谷地区再整備事業	平取町	二風谷アイヌ分博物館周辺地区において、緑地化や植栽による公園的な整備を行う。	平成29年5月～	平取町二風谷
その他	アイヌ文化環境保全対策事業	平取町	環境保全に伴う現況調査や精神文化、生活文化全般の再構築。	平成29年度	平取ダム、沙流川流域
その他	シシリムカアイヌ文化大学	平取町	アイヌ文化に関する基礎的な講義、アイヌ文化振興事業・活動状況の告知、平取町ダム地域文化調査業務実施状況報告。	4月から3月まで4～5回	ふれあいセンターびらとり
その他	かわまちづくり支援事業	平取町	視点場設置。	平成29年度	沙流川流域
その他	アイヌ文化体験学習講座(アイヌ文様を彫ってみよう)	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	夏休み期間中の個人来訪者向けに実施(1回500円)。アイヌ文様の普及と合わせて、継続的な講師育成の場として行っていく。	平成29年7月後半～8月中旬	二風谷工芸館
その他	上級実践講座「たら」編み	主催 伊達アイヌ協会	アイヌ文化の指導者が高齢化し減少しているため、伝統文化指導者育成する	平成29年9～10月	有珠生活館



アイヌ文化関連施設の紹介

アイヌ文化関連施設の分布

アイヌ文化にふれよう！

ここに紹介した博物館や資料館では、アイヌの人たちの民具や工芸品が展示・公開されています。

①～⑳のマークにマウスをのせると各施設の詳細が表示されます。



● 料金 ● 開館時間 ● 休館日
※団体料金については各施設にお問い合わせ下さい。

エリアごとのアイヌ文化関連施設

道央エリア	道南エリア	道東エリア	道北エリア
-------	-------	-------	-------



ポロトコタン (アイヌ民族博物館)

〒059-0902 白老郡白老町若草町2-3-4 TEL: 0144-82-3914
 料金 : 大人800円 高校生600円 中学生500円 小学生350円
 開館時間 : 8:45～17:00
 休館日 : 12月29日～1月5日



平取町立二風谷アイヌ文化博物館

〒055-0101 沙流郡平取町二風谷55 TEL: 01457-2-2892
 料金 : 大人400円 小中学生150円
 開館時間 : 9:00～17:00 (入館16:30)
 休館日 : 12月16日～1月15日 (館内整備) 11月16日～4月15日の月曜日

萱野茂・二風谷アイヌ資料館

〒055-0101 沙流郡平取町二風谷79-4 TEL: 01457-2-3215
 料金 : 高校生以上400円 中学生以下150円 (町立博物館との共通券あり)
 開館時間 : 9:00～17:00
 休館日 : 原則無休 (11月16日～4月15日は要事前連絡)



のほりべつクマ牧场・ユーカラの里 / アイヌ生活資料館

〒059-0551 登別市登別温泉町224 TEL: 0143-84-2225
 料金 : 大人 (中学生以上) 2,592円 小学生以下1,296円 (クマ牧場入園料金)
 開館時間 : 8:30～16:30 (季節による変動有り、詳細はHPにて)
 休館日 : 10月下旬～4月中旬
 (クマ牧場の開館時間、休日についてはお問い合わせください。)

知里幸恵 銀のしずく記念館

〒059-0465 登別市登別本町2丁目34-7 TEL: 0143-83-5666



料金 : 大人500円(登別市民は250円) 高校生200円 小中学生100円
 開館時間 : 9:30~16:30 (入館は16:00まで)
 休館日 : 火曜日(祝日を除く)、12月28日~1月5日



苫小牧市美術博物館

〒053-0011 苫小牧市末広町3-9-7 TEL: 0144-35-2550
 料金 : 大人300円 大高校生200円 中学生以下無料
 開館時間 : 9:30~17:00
 休館日 : 月曜日(月曜が祝日にあたるときはその翌日)、12月29日~1月3日



新ひだか町アイヌ民俗資料館

〒056-0011 日高郡新ひだか町静内真歌7-1 TEL: 0146-43-3094
 料金 : 無料
 開館時間 : 9:00~17:00
 休館日 : 月曜日、祝日の翌日、12月1日~4月30日



浦河町立郷土博物館

〒057-0002 浦河郡浦河町西幌別273-1 TEL: 0146-28-1342
 料金 : 無料
 開館時間 : 9:00~16:30
 休館日 : 12月31日~1月3日、臨時休館有



北海道博物館(愛称:森のちゃれんが)

北海道開拓記念館と北海道立アイヌ民族文化研究センターは一緒に、「北海道博物館」として新たに歩み始めます。オープン日:平成27年4月18日(土)
 料金 : 一般600円 団体(10名以上)500円 高・大300円
 高・大(10名以上)200円 無料:65歳以上、中学生以下、身体障がい者
 開館時間 : 9:30~16:30(10月~4月)、9:30~17:00(5月~9月)
 入館は終了の30分前まで
 休館日 : 月曜日(月曜日が祝日と重なる日は直後の平日に休館)、年末年始ほか



サッポロビリコタン

〒061-2274 札幌市南区小金湯27 TEL: 011-596-5961
 料金 : 展示室のみ有料 大人200円 高校生100円 中学生以下無料
 開館時間 : 8:45~22:00(展示室、歴史の里、自然の里は9:00~17:00)
 休館日 : 月曜日、祝日、12月29日~1月3日、毎月最終火曜日



北海道立アイヌ総合センター

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かてる2・7ビル TEL: 011-221-0462
 料金 : 無料
 開館時間 : 9:00~17:00
 休館日 : 日曜日、祝日、12月29日~1月3日



よいち水産博物館

〒046-0011 余市郡余市町入舟町21 TEL: 0135-22-6187
 料金 : 大人(高校生以上)300円 小中学生100円
 開館時間 : 9:00~16:30
 休館日 : 月曜日、祝日の翌日、12月中旬の月曜日から4月上旬位まで

そのほかのアイヌ文化関連施設

- ❑ ヤイユーカラの森(札幌市)
- ❑ 昭和新山アイヌ記念館(社管町)
- ❑ 北海道立北方民族博物館(網走市)
- ❑ 七飯町歴史館(七飯町)
- ❑ 室蘭市民俗資料館(室蘭市)
- ❑ 新十津川町開拓記念館(新十津川町)
- ❑ 滝川市郷土館(滝川市)
- ❑ 士別市立博物館(士別市)
- ❑ 美深町文化会館COM100郷土資料室(美深町)
- ❑ アイヌ文化の森・伝承のコタン(鷹栖町)
- ❑ シャクシャイン記念館(新ひだか町)
- ❑ 新ひだか町三石郷土館(新ひだか町)
- ❑ 様似郷土館(様似町)
- ❑ 紋別市立博物館(紋別市)
- ❑ 本別町歴史民俗資料館(本別町)
- ❑ 浦幌町立博物館(浦幌町)
- ❑ 斜里町立知床博物館(斜里町)

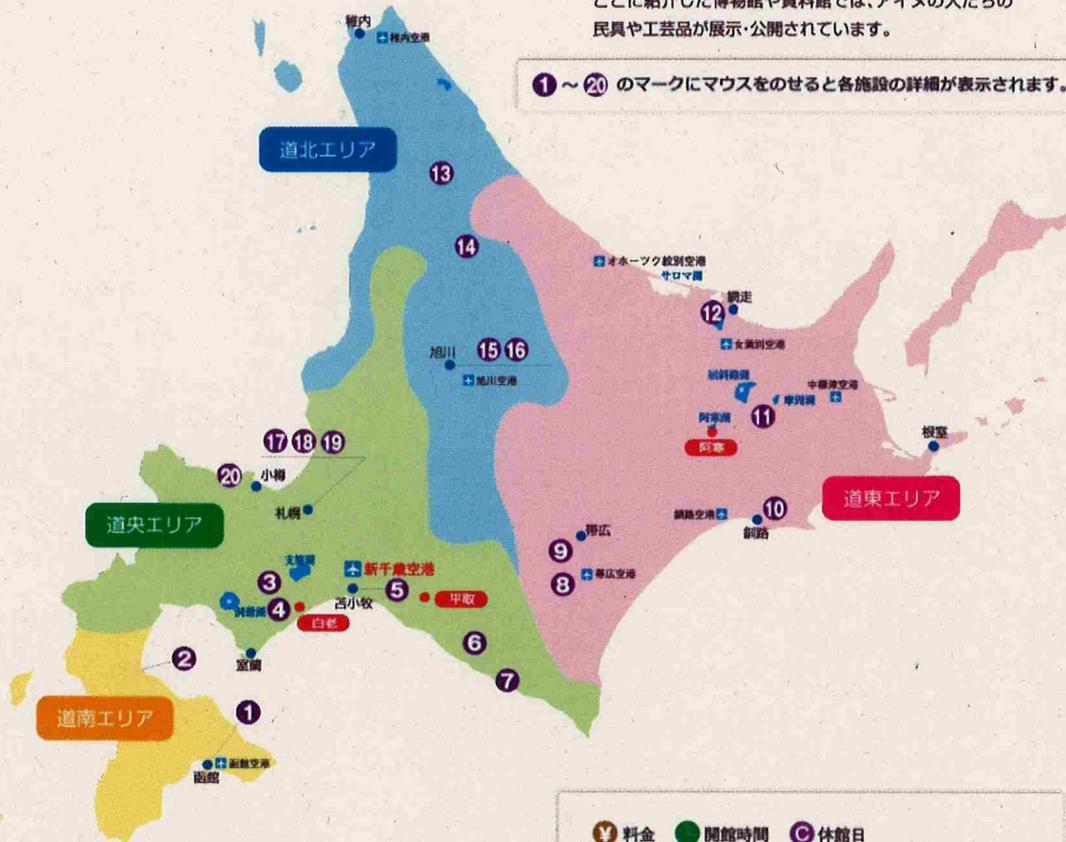
アイヌ文化関連施設の紹介

アイヌ文化関連施設の分布

アイヌ文化にふれよう！

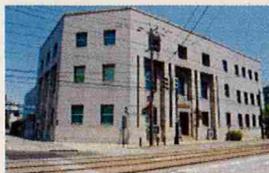
ここに紹介した博物館や資料館では、アイヌの人たちの
民具や工芸品が展示・公開されています。

①～⑳のマークにマウスをのせると各施設の詳細が表示されます。



エリアごとのアイヌ文化関連施設

道央エリア	道南エリア	道東エリア	道北エリア
-------	-------	-------	-------



函館市北方民族資料館

〒040-0053 函館市末広町21-7 TEL：0138-22-4128

料金 : 大人300円 学生・生徒・児童150円
 開館時間 : 4月～10月/9：00～19：00 11月～3月/9：00～17：00
 休館日 : 12月31日～1月3日、臨時休館有



八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館

〒049-3112 二海郡八雲町末広町154 TEL：0137-63-3131 (公民館内線：231)

料金 : 無料
 開館時間 : 9:00～16:30
 休館日 : 月曜日、祝日、12月29日～1月5日

そのほかのアイヌ文化関連施設

② ヤイユーカラの森 (札幌市)



HOME

キャンペーン概要

サポーター募集

サポーター企業一覧

ロゴマークについて

Contact us

HOME ▶ アイヌ文化関連施設の紹介

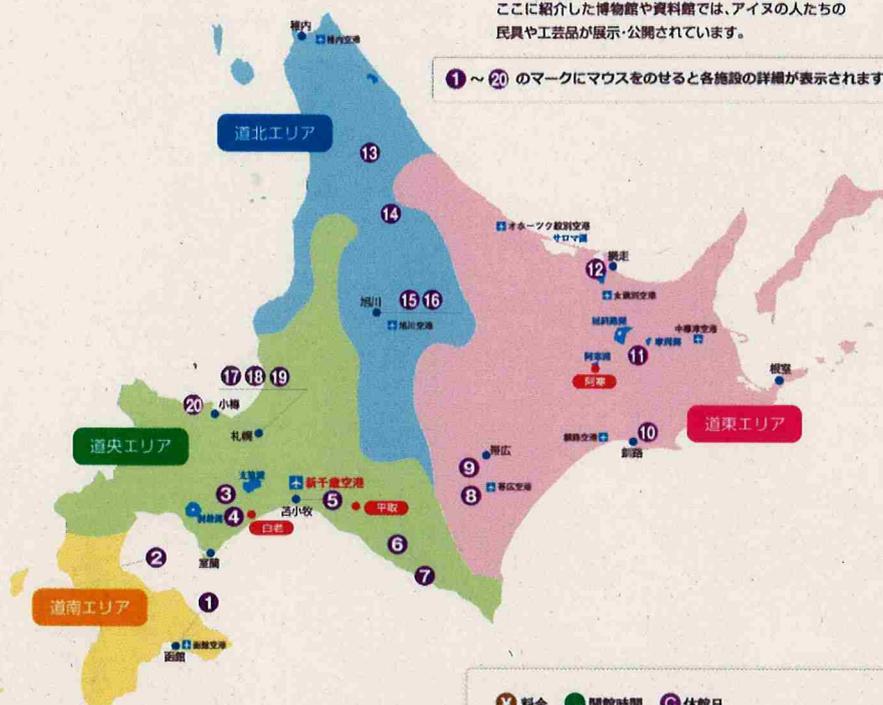
アイヌ文化関連施設の紹介

アイヌ文化関連施設の分布

アイヌ文化にふれよう！

ここに紹介した博物館や資料館では、アイヌの人たちの
民具や工芸品が展示・公開されています。

①～⑳のマークにマウスをのせると各施設の詳細が表示されます。



① 料金 ② 開館時間 ③ 休館日

※団体料金については各施設にお問い合わせ下さい。

エリアごとのアイヌ文化関連施設

道央エリア

道南エリア

道東エリア

道北エリア



阿寒湖アイヌシアター イコロ

〒085-0467 釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84 TEL: 0154-67-2727

アイヌ古式舞踊公演・人形劇公演『イヨマンテの火まつり(春・夏・秋) パージョンあり』
その他、アイヌ文化体験メニューもあります。

料金 : 大人(中学生以上) 1,080円 小学生540円
(割引チケット/各宿泊施設及びコタン商店にて販売)

開館時間 : 9:00～21:30

季節により公演内容、時間が異なりますのでご確認ください。

休館日 : 不定休



幕別町蝦夷文化考古館

〒089-0563 中川郡幕別町字千住114-1 TEL: 0155-56-4899

料金 : 無料

開館時間 : 10:00～16:00

休館日 : 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)、12月30日～1月5日



帯広百年記念館

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2緑ヶ丘公園内 TEL: 0155-24-5352

料金 : 大人380円 65歳以上の方・高校生190円 中学生以下無料

開館時間 : 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 : 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(土、日は開館)、12月29日～1月3日



釧路市立博物館

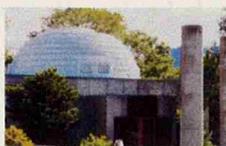
〒085-0822 釧路市春湖台1-7 TEL: 0154-41-5809

料金 : 大人470円 高校生250円 小中学生110円

開館時間 : 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

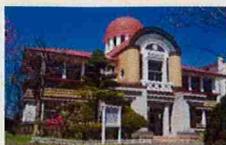
休館日 :

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
11月4日から3月末までの祝日、12月31日～1月5日
館内整理日



弟子屈町斜路コタンアイヌ民俗資料館

〒088-3351 川上郡弟子屈町字屈路市街1条通11番地先
TEL：015-484-2128（休館中 TEL：015-482-2948）
料金：大人（高校生以上）420円 小中学生280円
開館時間：9:00～17:00
休館日：11月1日～4月28日



網走市立郷土博物館

〒093-0041 網走市桂町1丁目1-3 TEL：0152-43-3090
料金：大人（高校生以上）120円 小中学生60円
開館時間：5月～10月 9:00～17:00 11月～4月 9:00～16:00
休館日：月曜日、祝日、12月31日～1月5日

そのほかのアイヌ文化関連施設

- ▶ ヤイユーカーラの森（札幌市）
- ▶ 昭和新山アイヌ記念館（杜管町）
- ▶ 北海道立北方民族博物館（網走市）
- ▶ 七飯町歴史館（七飯町）
- ▶ 室蘭市民俗資料館（室蘭市）
- ▶ 新十津川町開拓記念館（新十津川町）
- ▶ 滝川市郷土館（滝川市）
- ▶ 士別市立博物館（士別市）
- ▶ 美深町文化会館COM100郷土資料室（美深町）
- ▶ アイヌ文化の森・伝承のコタン（鷹栖町）
- ▶ シャクシャイン記念館（新ひだか町）
- ▶ 新ひだか町三石郷土館（新ひだか町）
- ▶ 様似郷土館（様似町）
- ▶ 紋別市立博物館（紋別市）
- ▶ 本別町歴史民俗資料館（本別町）
- ▶ 浦幌町立博物館（浦幌町）
- ▶ 斜里町立知床博物館（斜里町）

いいね! 1,256 ツイート

^ PAGE TOP



「Iran Karafate」キャンペーン推進協議会

- ▶ キャンペーン概要
- ▶ サポーター募集
- ▶ サポーター企業一覧
- ▶ ロゴマークについて
- ▶ News & Topics
- ▶ お問い合わせ
- ▶ イベント情報
- ▶ アイヌ文化と歴史
- ▶ English



アイヌ文化関連施設の紹介

アイヌ文化関連施設の分布

アイヌ文化にふれよう！

ここに紹介した博物館や資料館では、アイヌの人たちの民具や工芸品が展示・公開されています。

①～⑳のマークにマウスをのせると各施設の情報が表示されます。



① 料金 ② 開館時間 ③ 休館日
※団体料金については各施設にお問い合わせ下さい。

エリアごとのアイヌ文化関連施設

道央エリア	道南エリア	道東エリア	道北エリア
	BIKKYアトリウム3モア 〒098-2500 中川郡音威子府村字物満内55 TEL：01656-5-3980 料金：大人（高校生以上）200円 中学生以下無料 開館時間：9:30～16:30 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、11月1日～4月25日		名寄市北国博物館 〒096-0063 名寄市字緑丘222 TEL：01654-3-2575 料金：大人（高校生以上）200円 中学生以下無料 開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日：月曜日、12月30日～1月6日
	旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 大雪クリスタルホール内 TEL：0166-69-2004 料金：大人300円 高校生200円 中学生以下無料 開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日：10月～5月の第2・4月曜日（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月4日		川村カトアイヌ記念館 〒070-0825 旭川市北門町11丁目 TEL：0166-51-2461 料金：大人500円 中高生400円 小学生300円 小学生未満無料 開館時間：9:00～17:00（7・8月18:00まで） 休館日：なし

そのほかのアイヌ文化関連施設

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」 パートナーシップ事業 提案募集要領

第1 趣旨

「民族共生象徴空間」開設に向けた「機運の醸成」「情報の発信」「誘客促進」「受入体制・おもてなしの充実」、その他象徴空間開設を契機とした文化・観光・地域振興等に資する取組について、市町村や企業・団体等から提案を募集し、ネットワークのパートナーシップ事業として登録するとともに、総合的な情報発信や国や道、市町村、公益団体対等各機関との連携を促し、提案の事業化と効果的な展開をサポートするため、「民族共生象徴空間交流促進官民ネットワーク・パートナーシップ事業」提案募集に関する実施要領を定めるものです。

第2 提案募集

1 応募対象

本事業では、提案の主体性、実効性、事業の継続性等の観点から、対象を企業、団体とし、個人からの提案は受理しないほか、次の各号のいずれかの事項に該当するものの提案は対象となりません。

- ① 法令等に違反する行為を行うもの又はそのおそれのあるもの
- ② 公序良俗に反する行為を行うもの又はそのおそれのあるもの
- ③ 政治活動を助長するおそれのあるもの
- ④ 宗教活動を助長するおそれのあるもの
- ⑤ その他パートナーシップ事業の対象とすることが適当でないと認められるもの

2 募集する提案の種別等

- (1) 国、道や市町村、公益団体等が行う象徴空間関連事業に支援・協力するもの。
- (2) 提案する民間企業等、自らが応援する事業の実施主体となるものであって、以下のいずれかに該当するもの。
 - ア 「民族共生象徴空間」の開設に向けた機運の醸成に関する企画提案
 - イ 「民族共生象徴空間」開設やアイヌ文化の魅力等に関する国内外への情報発信に関する企画提案
 - ウ 「民族共生象徴空間」及び道内各地のアイヌ文化発信拠点等への誘客の促進に関する企画提案
 - エ 「民族共生象徴空間」等を訪れる方々への受入体制・おもてなしの充実に関する企画提案
 - オ その他「民族共生象徴空間」を契機とした文化・観光・地域振興の取組などに関する企画提案

3 募集方法

(1) 提案受付

別添「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク・パートナーシップ事業」提案シートによりメールもしくはFAX等で受付します。

(2) 提出先

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」事務局

(北海道環境生活部アイヌ政策推進室)

TEL: 011-204-5183(直通)

011-231-4111(内線24-133、24-136)

FAX: 011-232-4107

E-mail: niwa.kouji@pref.hokkaido.lg.jp, sasaki.kousuke@pref.hokkaido.lg.jp

(3) 募集期間

提案受付期間は、平成29年4月1日から平成33年3月31日までとします。

第3 提案の事業化

提案内容が道や国、市町村、公益団体などの各提案先と、事業化が可能と判断されるもの、または事業化に向けての可否判断や効果的な展開が図られるよう、具体的な協議を行う。

事業は原則、応援ネットワークの新たな金銭負担を伴わないものとし、道や国、市町村、公益団体などの資産活用に関する提案や新たな財政措置を伴う提案の具体化については、公平性の担保の観点から判断を行うこととなります。

第4 公表・広報等

道や国、市町村、公益団体等と企業等が実施するパートナーシップ事業については、事業化した時点でその内容等を公表するとともに、ホームページ等で事業内容のPRを行い、道内外等に対して広く周知を図ります。

附 則

この要領は、平成29年 2月20日から施行する。

別紙

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク・パートナーシップ事業提案シート」

平成 年 月 日

提案企業等	<住 所> <名 称> <代表者氏名>		
連絡責任者	(役 職) (氏 名)		
電話番号		FAX番号	
E-mail アドレス			

提案の種類	<input type="checkbox"/> ①国、道、市町村等が実施する事業への支援・協力
	<input type="checkbox"/> ②民間企業等が自ら実施する、以下の分野の応援事業の提案 <input type="checkbox"/> 機運醸成に関する協力・支援等 <input type="checkbox"/> 情報発信に関する協力・支援等 <input type="checkbox"/> 誘客促進に関する協力・支援等 <input type="checkbox"/> 受入体制・おもてなしの充実に関する協力・支援等 <input type="checkbox"/> その他
提案内容	
事業展開を希望する地域	
事業実施希望時期	
事業の具体化に向けた提案先への要望等	
提案内容の公表	<input type="checkbox"/> 公表しても差し支えない <input type="checkbox"/> 公表する場合には事前に相談願いたい <input type="checkbox"/> 公表は辞退したい

※提出にあたっては、別紙の記載方法を参照してください。

別紙

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク・パートナーシップ事業」
提案シートの記載方法

① 提案者について

提案される企業・団体の住所、名称及び代表者氏名の記載をお願いします。
また、提案内容に関する連絡責任者の役職・氏名及び連絡先の記載をお願いします。

(記載例)

提案企業等	<住 所> 札幌市中央区〇〇〇〇〇 <名 称> 株式会社〇〇〇〇 <代表者氏名> 代表取締役 〇〇〇〇		
連絡責任者	営業部 部長 〇〇〇〇		
電話番号	011-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX番号	011-〇〇〇-〇〇〇〇
E-mail アドレス	〇〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp		

② 提案内容等について

「提案の種類」

該当する□にチェック願います。

「提案内容」

次の点について留意して記載願います。

- 提案されるパートナーシップ事業の目的
- 事業の具体的内容
- 事業における提案者と提案先の役割分担

※ 添付資料がある場合には、A4版3枚以内で添付願います。

※ 提案内容によっては、提案先の固有の事情により事業化できない場合がありますので
ご留意願います。

「事業の具体化に向けた提案先への要望等」

上記の提案内容における役割分担を踏まえて具体的に記載願います。

なお、要望等のうち道や国、市町村、公益団体等の資産活用に関する提案や新たな財政措置を伴う提案の具体化については、公平性の担保の観点から判断を行うこととなりますので
留意願います。

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」規約

(名 称)

第1条 この組織は、「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」(以下「象徴空間応援ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 象徴空間応援ネットワークは、2020年のアイヌ文化の復興等のナショナルセンター「民族共生象徴空間」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的とする。

(取組事項)

第3条 象徴空間応援ネットワークは、前条の目的を達成するため、次の取組を行う。

- (1) 民族共生象徴空間開設に向けた誘客促進のPRなど気運醸成に関する事。
- (2) 国内外へのアイヌ文化と北海道の魅力発信に関する事。
- (3) 訪日外国人観光客など国内外からの来道者100万人の受入体制やおもてなしに関する事。
- (4) 民族共生象徴空間周辺環境の整備や交通アクセスの充実等に関する事。
- (5) その他目的を達成するために必要な事項に関する事。

(構 成)

第4条 会議は別表1に掲げる者で構成する。

ただし、設立総会以降に参画の申出があり、代表が、必要と認める場合は、これを追加し、構成員に通知するものとする。

2 会議には別表2の機関をオブザーバーとして位置付け、意見等を求めるものとする。

(役 員)

第5条 会議に次の役員を置く。

- (1) 代 表 1名
 - (2) 副代表 若干名
- 2 役員は、構成員の中から選出する。
- 3 代表は、会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副代表は、代表を補佐し、代表が不在のときは、予め代表が指名する順序により、その職務を代理する。

(顧 問)

第6条 会議に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、代表が指名する者をもって充てる。
- 3 顧問は、会議の運営に関し、意見を述べることができる。

(任 期)

第7条 役員及び顧問の任期は、会議が解散するまでとする。

(会 議)

第8条 会議は、代表が召集する。

- 2 規約の制定及び改廃、役員を選出その他重要な事項については、会議の承認を得るものとする。
ただし、軽微な事項については、この限りではない。
- 3 事業の執行に関する事その他代表が必要と認めたことについて審議決定する。

(部 会)

- 第9条 民族共生象徴空間開設に向けた国や関係機関への必要な提案事項の検討や活性化プロジェクトを調整するため、「企画部会」を置く。
- 2 民族共生象徴空間への誘客促進や道内各地のアイヌ文化等の魅力を活かした観光・地域振興や情報発信プロジェクトを喚起・推進するため、「活性化部会」を置く。
- 3 企画部会は別表3、活性化部会は別表4に掲げる委員で構成する。
- 4 部会に会務を総括する部会長を置く。
- 5 部会長は、会議の委員の中から代表が指名する。
- 6 代表は、必要に応じ、会議に上記以外の部会を置くことができる。
- 7 部会に関することは、代表が別に定める。

(事務局)

- 第10条 事務局は、北海道環境生活部アイヌ政策推進室内に置く。

(委 任)

- 第11条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、代表が別に定める。

附 則

- この規約は、平成28年11月9日から施行する。
- この規約は、平成29年2月20日から施行する。

別表1 (第4条関係)

	名 称	参集範囲
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道 ・北海道議会 ・札幌市 ・旭川市 ・帯広市 ・釧路市 ・白老町 ・平取町 ・新ひだか町 ・伊達市 ・室蘭市 ・苫小牧市 ・登別市 ・弟子屈町 ・白糠町 ・標津町 	<ul style="list-style-type: none"> ・副知事 ・議長 ・市長 ・市長 ・市長 ・市長 ・市長 ・町長 ・町長 ・町長 ・市長 ・市長 ・市長 ・市長 ・町長 ・町長 ・町長
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学 ・アイヌ政策推進北海道議会議員連盟 ・北海道博物館 ・公益社団法人北海道アイヌ協会 ・公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 ・一般財団法人アイヌ民族博物館 ・白老町活性化推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・総長 ・会長 ・館長 ・理事長 ・理事長 ・代表理事 ・会長
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道経済同友会 ・北海道経済連合会 ・一般社団法人北海道商工会議所連合会 ・北海道商工会連合会 ・公益社団法人北海道観光振興機構 ・一般社団法人北海道建設業協会 ・北海道ホテル旅館生活衛生同業組合 ・一般社団法人日本ホテル協会北海道支部 ・日本旅館協会北海道支部連合会 ・北海道旅客鉄道株式会社 ・一般社団法人日本旅行業協会北海道支部 ・一般社団法人全国旅行業協会北海道支部 ・一般社団法人北海道バス協会 ・一般社団法人北海道ハイヤー協会 ・一般社団法人北海道食品産業協議会 ・札幌市内ホテル連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表幹事 ・会長 ・会頭 ・会長 ・会長 ・会長 ・理事長 ・支部長 ・会長 ・代表取締役社長 ・支部長 ・支部長 ・支部長 ・会長 ・会長 ・会長 ・代表幹事

別表3（第9条関係）

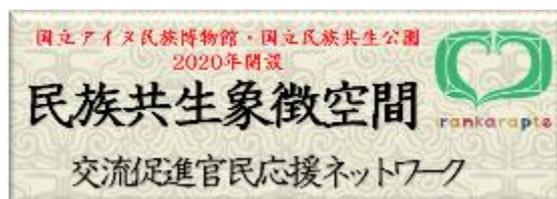
	名 称	参集範囲
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道 ・札幌市 ・旭川市 ・帯広市 ・釧路市 ・白老町 ・平取町 ・新ひだか町 ・伊達市 ・室蘭市 ・苫小牧市 ・登別市 ・弟子屈町 ・白糠町 ・標津町 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境生活部長 ・総合政策部交通企画監 ・経済部観光振興監 ・市民文化局長 ・副市長 ・教育長 ・副市長 ・副町長 ・副町長 ・副町長 ・副市長 ・副市長 ・副市長 ・副市長 ・副町長 ・副町長 ・副町長
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学 ・北海道博物館 ・公益社団法人北海道アイヌ協会 ・公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 ・一般社団法人アイヌ民族博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ・先住民研究センター長 ・副館長 ・事務局長 ・専務理事 ・専務理事
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省北海道開発局 ・国土交通省北海道運輸局 ・経済産業省北海道経済産業局 ・林野庁北海道森林管理局 ・文化庁国立アイヌ民族博物館設立準備室 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ関連施策監理官 ・交通政策部長 ・観光部長 ・産業部長 ・総務企画部長 ・主幹

別表4（第9条関係）

	名 称	参集範囲
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道 ・札幌市 ・旭川市 ・帯広市 ・釧路市 ・白老町 ・平取町 ・新ひだか町 ・伊達市 ・室蘭市 ・苫小牧市 ・登別市 ・弟子屈町 ・白糠町 ・標津町 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境生活部長 ・総合政策部交通企画監 ・経済部観光振興監 ・市民文化局長 ・副市長 ・教育長 ・副市長 ・副町長 ・副町長 ・副町長 ・副市長 ・副市長 ・副市長 ・副市長 ・副町長 ・副町長 ・副町長
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道博物館 ・公益社団法人北海道アイヌ協会 ・公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 ・一般社団法人アイヌ民族博物館 ・白老町活性化推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・副館長 ・事務局長 ・専務理事 ・専務理事 ・副会長
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道商工会連合会 ・北海道経済同友会 ・北海道経済連合会 ・一般社団法人北海道商工会議所連合会 ・公益社団法人北海道観光振興機構 ・一般社団法人北海道建設業協会 ・北海道ホテル旅館生活衛生同業組合 ・一般社団法人日本ホテル協会北海道支部 ・日本旅館協会北海道支部連合会 ・北海道旅客鉄道株式会社 ・一般社団法人日本旅行業協会北海道支部 ・一般社団法人全国旅行業協会北海道支部 ・一般社団法人北海道バス協会 ・一般社団法人北海道ハイヤー協会 ・一般社団法人北海道食品産業協議会 ・札幌市内ホテル連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・会長 ・常務理事 ・常務理事 ・専務理事 ・専務理事 ・専務理事 ・専務理事 ・事務局長 ・専務理事 ・営業部長 ・事務局長 ・事務局長 ・専務理事 ・専務理事 ・専務理事 ・事務局長

別表4（第9条関係）

	名 称	参集範囲
サポーター 一企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴雅ホールディングス株式会社 ・株式会社AIRDO ・株式会社JTB北海道 ・イオン北海道株式会社 ・日本航空株式会社 ・株式会社シーブーツアーズ ・株式会社ジェーシービー ・サッポロビール株式会社北海道本社 ・北海道空港株式会社 ・一般社団法人札幌大学ウレシパクラブ ・北海道放送株式会社 ・北海道テレビ放送株式会社 ・北海道文化放送株式会社 ・全日本空輸株式会社 ・札幌テレビ放送株式会社 ・株式会社電通北海道 ・株式会社テレビ北海道 ・株式会社北海道新聞社 ・北海道エネルギー株式会社 ・株式会社北洋銀行 ・株式会社北海道銀行 ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社 ・NHK札幌放送局 ・株式会社苫小牧民報社 ・株式会社室蘭民報社 ・苫小牧信用金庫 ・室蘭信用金庫 ・伊達信用金庫 ・株式会社アドビューロー岩泉 ・株式会社アブ・アウト 	<ul style="list-style-type: none"> ・常務取締役 ・取締役（CSR企画推進室長） ・専務取締役 ・取締役兼常務執行役員管理本部長 ・北海道地区副支配人 ・常務取締役 ・北海道営業部長 ・副代表 ・取締役総務部長 ・代表理事 ・テレビ営業局長 ・営業局長 ・取締役経営企画室長 ・北海道支社副支社長 ・常務取締役営業局長 ・取締役営業副本部長 ・常務取締役 ・経営企画局局次長兼企画本部長 ・取締役販売企画本部長 ・常務取締役 ・地域振興公務部長 ・広報・CSR推進部長 ・放送部長 ・代表取締役社長 ・常務取締役編集局長 ・営業部長 ・専務理事 ・常務理事・総務グループ長 ・営業4部長 ・取締役海外事業部長



民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク事務局

北海道環境生活部アイヌ政策推進室(TEL:011-204-5185)